

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《新型コロナウイルス感染拡大による影響について》

・4/7に政府から7都府県に対して緊急事態宣言が出されたことにより、外食産業が営業自粛を含め大きな影響を受けることから、インバウンドの減少や観光業等の需要の落ち込み等によって既に大きく低迷している業務用牛乳・乳製品の需要はさらに減少することが懸念される。

・また、緊急事態宣言の出た都府県を中心に臨時休校が継続されることから、学乳向け生乳については今後も加工向けに振り向ける等の需給調整を行う必要があり、引き続き業界全体で一致協力した対応を図ってゆくことが重要である。

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRU】

(1)直近(本年1月~)の動向(表①参照)

・直近(3/30週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同113.2%、成分調整牛乳:同97.9%、加工乳:同133.0%、乳飲料:同108.4%。

牛乳類では同111.4%と前年を大きく上回って推移している。

※加工乳については、2019年度に販売された大手メーカーの商品が一巡したことから、前年同期比が前週(3/23)より大きく変動している。

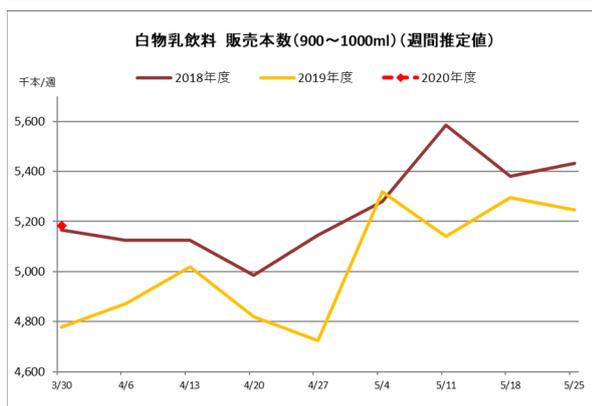
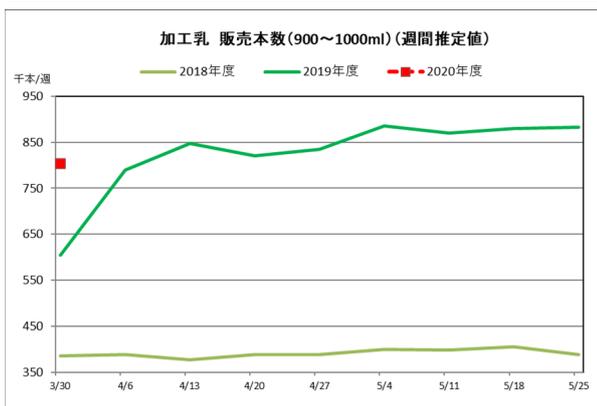
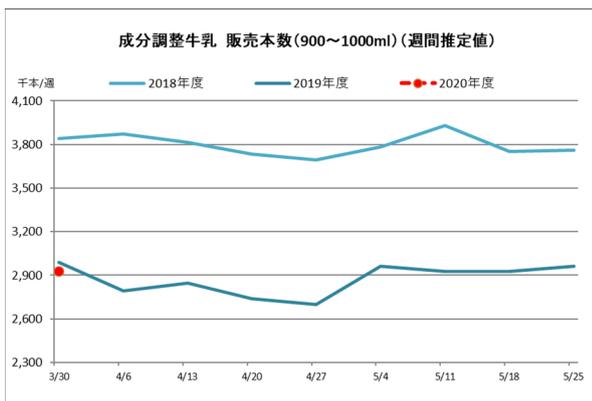
・販売単価は、牛乳:189.1円、成分調整牛乳:173.2円、加工乳:184.6円、乳飲料:150.5円。

(2)引き続き、在宅勤務や一部地域での外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要の増加によって堅調に推移している。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-
トータル	販売個数	30,740	30,915	30,916	30,863	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935
	販売個数前年比	101.8	100.5	102.1	100.7	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4
	販売単価	181.9	181.4	181.3	181.5	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9
牛乳	販売個数	22,670	22,800	22,782	22,760	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023
	販売個数前年比	102.6	101.1	102.7	101.1	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2
	販売単価	189.6	189.0	188.9	189.1	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5	189.1
成分調整牛乳	販売個数	2,623	2,595	2,599	2,629	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927
	販売個数前年比	83.9	81.7	82.5	83.1	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9
	販売単価	172.8	172.8	172.7	172.6	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9	173.2
加工乳	販売個数	731	738	729	734	716	734	714	796	755	767	741	805	804
	販売個数前年比	177.9	179.7	180.2	181.0	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0
	販売単価	183.2	182.5	182.3	181.4	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7	184.6
乳飲料	販売個数	4,716	4,782	4,806	4,740	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182
	販売個数前年比	103.5	103.2	106.0	103.6	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4
	販売単価	149.6	149.8	149.6	150.0	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年1月～)の動向(表②参照)

直近(3/30週)の販売個数は、ドリンクタイプ(100～250ml):前年同期比120%以上、個食タイプ(70～130ml):同105%以上、大容量タイプ(350～500ml):同110%以上。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要によって、ドリンクタイプを中心に前週(3/23週)よりさらに数字を伸ばしている。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	→	↻	↑	↻	↑	↑	↑	↑
個食タイプ	↓	↓	↓	↓	↓	→	↻	↻	↓	→	→	→	↻
大容量タイプ	→	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	→	↻	↻	↻	↑

-  :前年比90%未満
-  :前年比90%以上100%未満
-  :前年比100%以上105%未満
-  :前年比105%以上110%未満
-  :前年比110%以上120%未満
-  :前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・家庭用バターについて

家庭内消費の増加に加え、テレビ番組で取り上げられた効果もあり、2月末より大きく販売数量を伸ばしており、インテージデータでは、直近(3/23週)は、前年同期比134.1%となっている。

・食品のチャネル間シェア流入(金額)について

外出自粛や在宅勤務の拡大に伴い食品の購入チャネルにも変化が表れており、特にSM(スーパーマーケット)は、コンビニやデパートからの流入が見られ、前期より増加している(前期61.16%⇒当期61.62%)。また、ドラッグストア(前期11.51%⇒当期11.64%)や宅配・通販等(前期12.29%⇒当期12.40%)への流入も拡大している。

※前期:1/20～2/23週 当期:2/24～3/29週

・新型コロナウイルス感染症対策に関する学校の新学期開始状況等について

4/6時点の調査結果が、文部科学省HPIにて公表されております。

https://www.mext.go.jp/content/20200407-mxt_kouhou01-000006421_1.pdf